

TOKUSHIMA INNOVATION HUB

アグリス마트流通コンソーシアム

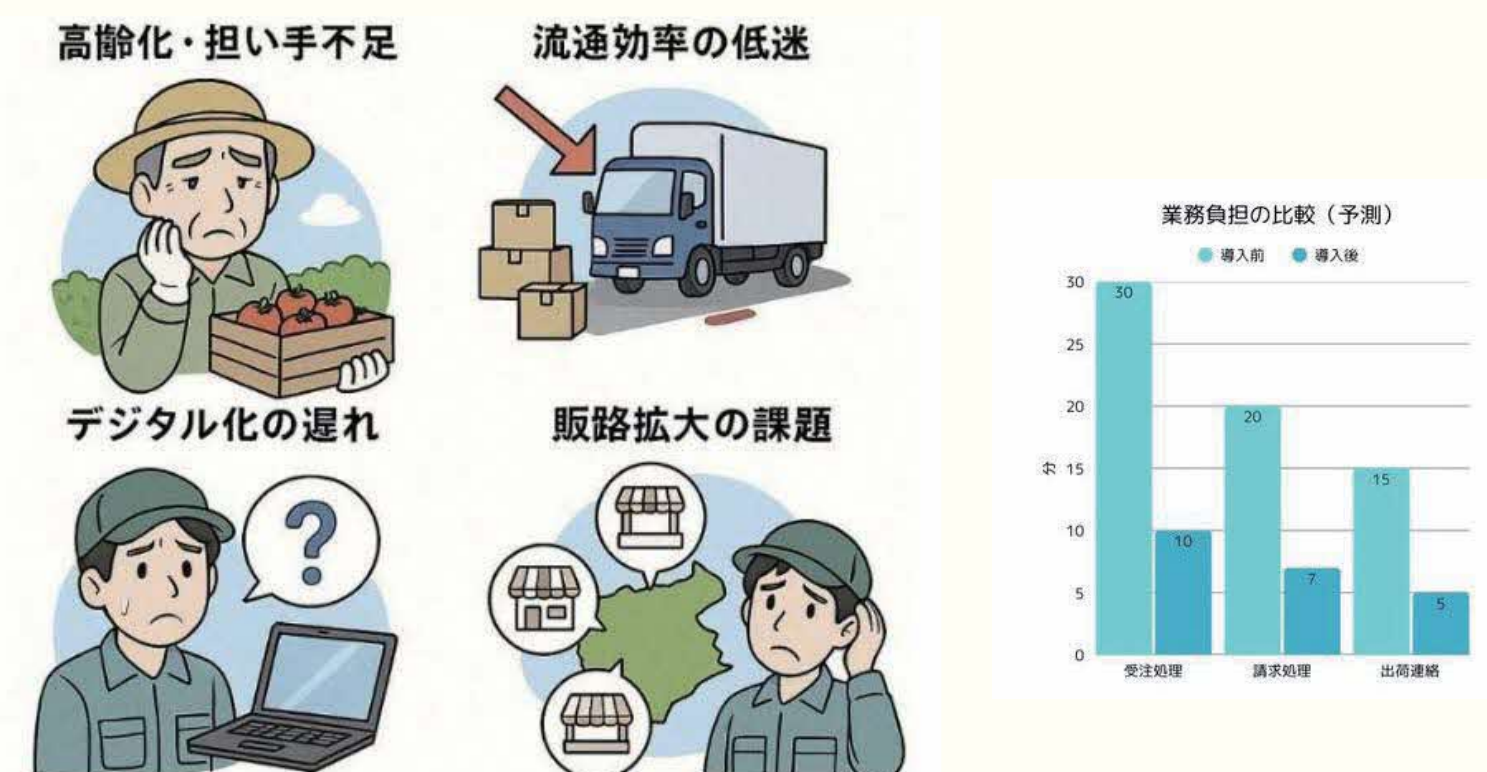
リーダー：株式会社ザップクラブ



チームメンバー：スマートアグリコンサルタンツ合同会社、神山まるごと高専（Tapaz）、株式会社青し、徳島県立農林水産総合技術支援センター

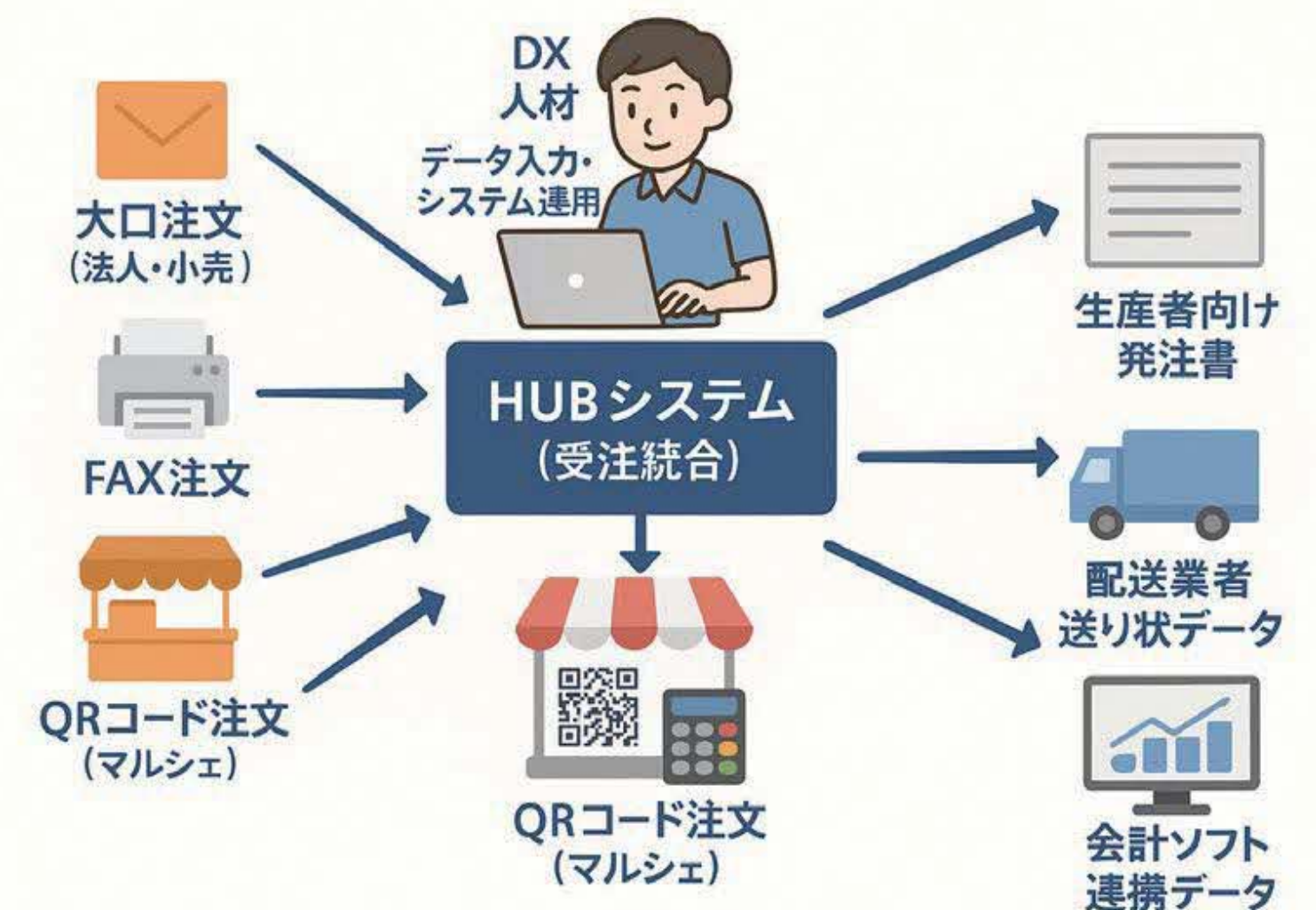
背景

- ・販管業務に時間がかかり、生産以外の事務負担が大きい
- ・個別配送で非効率、物流コストが高止まりしている
- ・高齢化と担い手不足で農業の持続が危ぶまれている
- ・ICT人材不足で受発注や販路拡大のデジタル化が進まない



目的

- ・地域農産物の安定流通と販路拡大
- ・農家・流通事業者の業務効率化と負担軽減
- ・デジタル活用による次世代の流通モデル確立
- ・地域に根ざした持続可能な食の循環



活動内容

- ・受発注DX：独自DBで注文～発送・請求を効率化し、関係者の負担を軽減
- ・配送連携：地域物流と協働し、共同配送モデルを確立して効率化
- ・販路拡大：B2B卸・ふるさと納税・サブスク便で販路を拡充し価値向上
- ・DX人材育成：地域人材にデジタル実務を習得させ、雇用を創出



次年度の重点（課題とターゲット）

- ・実証から拡大へ：小規模テストから、県全体で使える仕組みにスケール化
- ・DX人材の定着：単発ではなく、継続雇用・地域に根づく人材育成へ
- ・中間者の役割強化：品質保証やセット組など「目利き機能」を制度化
- ・販路多様化：マルシェ中心から、外食・小売・法人需要へ広げる

